

高知新聞

須崎工業高等学校



花束を受け取る織田哲郎さん
(30日午後、須崎市の市民文化会館)

須崎総合高の校歌披露

【須崎】須崎、須崎工業を集めて作詞し、織田 取った織田さんは「卒業業の2高校が統合して2さんが作曲した。みんなしてからも、須崎総合高019年度に開校する須で歌えるようシンプルに校の日々を楽しい思い出校の校歌「碧きしつつ、飽きがないよ」として校歌とともに思い出彼方へ」のお披露目会がうにした」と織田さん。出していただけたら。こ30日、須崎市新町2丁目 この日は、両校の生徒んなにうれしいこととはな市民文化会館で開かれ約60人がステージで校歌いですと笑顔で話した。作曲した本県生まれを合唱。「新莊川」「蟠蛇」取材に対し、織田さんのシンガー・ソングライター森など須崎の魅力は「何十年も思い出ととター、織田哲郎さん(59) 詞に盛り込んだ伸びやかにも歌っていつてほしいなと思う。

作曲の織田哲郎さん

「思い出とともに歌って」

も出席し、両校の生徒やな曲を披露し、大きな拍で活躍して、日本中での近隣の中学生ら約700人に手が送られた。の校歌が聞けたらうれし「楽しく充実した高校生 両校を代表し、須崎工い」と期待していた。活を送って」とメッセージ 高2年の石山凌さんが お披露目会の前後にジを送った。 「学校や須崎の情景が目は、須崎工高の「課題研両校の生徒でつくるに浮かんできます。勇気 究発表会」も開かれ、3「須崎総合高校校歌制作や希望があふれる校歌に 年生がものづくりを通じ委員会」が、市内の中高 なりました」とあいさした学習の成果を報告し生から校歌に使いたい言つ。花束と感謝状を受けた。(山本 仁)

両校生徒が新校歌披露
織田哲郎さんが来高!

